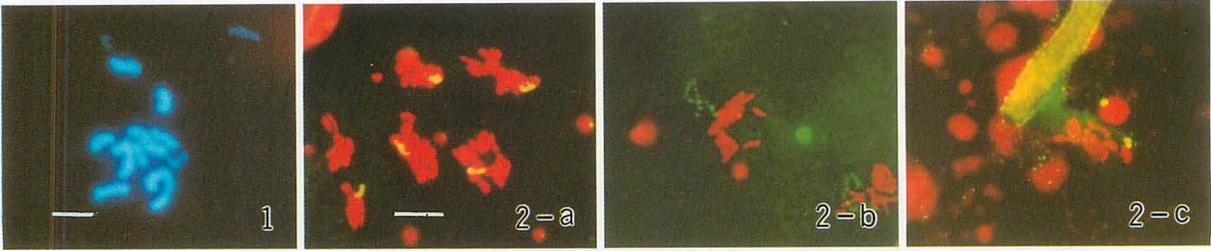


蛍光染色法及び蛍光 *in situ* ハイブリダイゼーション法による植物病原糸状菌の染色体解析

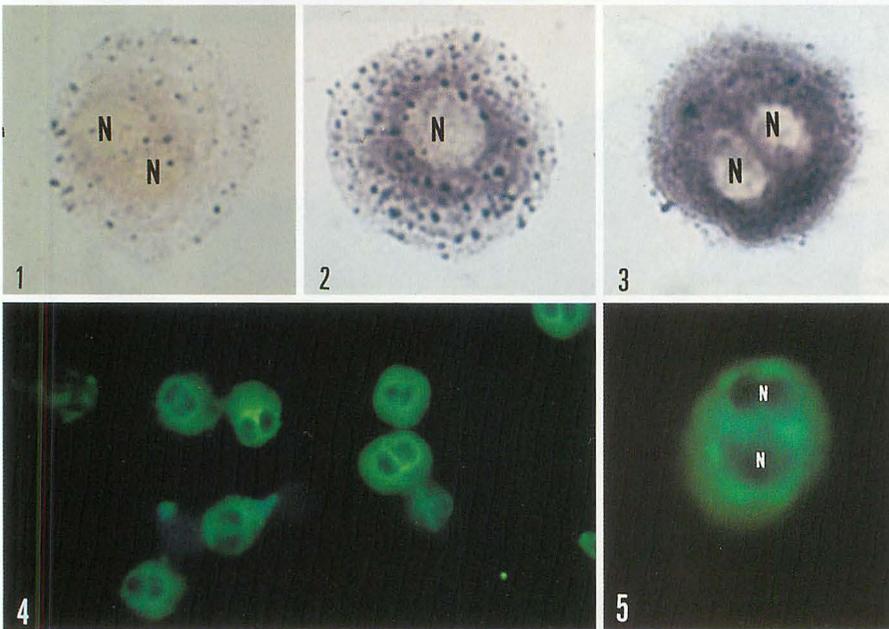
多賀正節氏原図(本文 10 ページ参照)



1. DAPI染色によるトマトアルターナリア萎枯病菌(*Alternaria alternata* tomato pathotype)染色体の蛍光像。スケールバーは2 μm。
2. 蛍光 *in situ* ハイブリダイゼーション法による核小体(仁)形成体の検出。赤色部分はpropidium iodide、黄色部分はFITCによる蛍光である。a、bは灰色かび菌(*Botrytis cinerea*)、cはトマトアルターナリア萎枯病菌。スケールバーは4 μm。

in situ ハイブリダイゼーション法によるタバコプロトプラスト内におけるタバコモザイクウイルスRNAの検出

細川大二郎氏原図(本文 18 ページ参照)

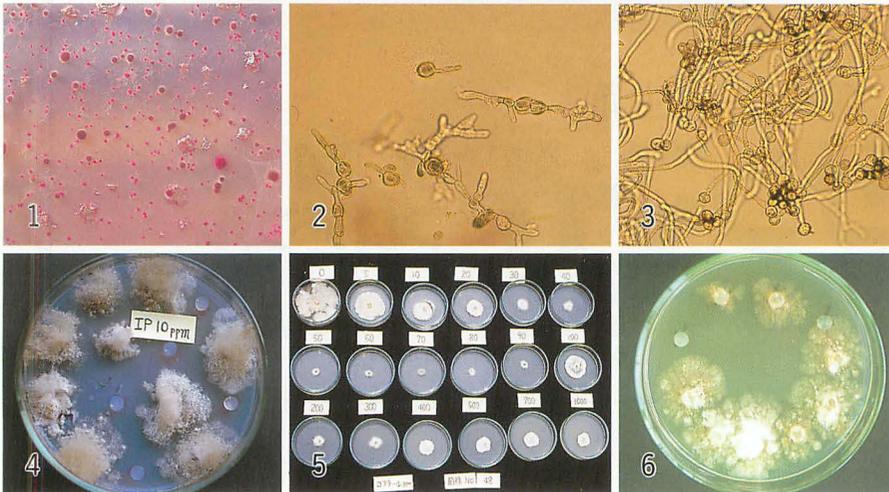


- 1～3：アルカリフォスファターゼ標識抗ジゴキニン抗体を用いてプロトープを可視化した。
1：接種2時間後、
2：接種4時間後、
3：接種12時間後、
N：核
- 4, 5：FITC標識抗ジゴキニン抗体を用いてプロトープを可視化した(蛍光 *in situ* ハイブリダイゼーション法)、接種12時間後。
N：核

植物病原菌の薬剤感受性検定マニュアル(6)

—野菜類灰色かび病菌—

木曾 皓氏原図(本文 42 ページ参照)

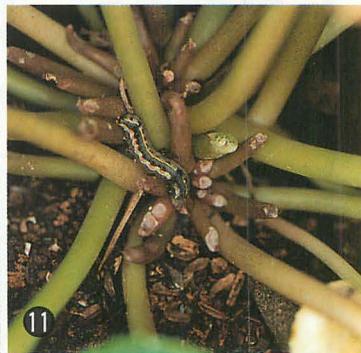
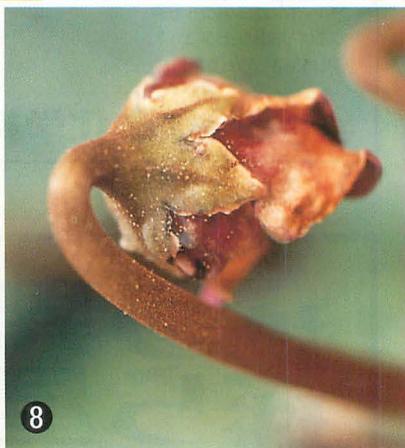


- ①空中浮遊菌を選抜培地でトラップした灰色かび病菌の生育コロニー(赤色小斑点)
- ②ペンズイミダゾール系剤に対する感受性菌(スライドカルチャー法, 22°C, 24hrs, ai, 200 μg/ml)の反応
- ③同上に対する高度耐性菌(ほとんど正常な生育)の反応
- ④含イプロジオン(10 μg/ml) PSA上での感受性菌と耐性菌の生育状況
- ⑤灰色かび病菌が示すポリマーダル生育(イプロジオン濃度別反応)
- ⑥含ジェットフェンカルブ(5 μg/ml) PSA上でのRSR菌の生育とRSS(左斜上1個), 22°C, 240hrs後

連載口絵 花の病害虫 (11) シクラメン



①シクラメン



②軟腐病(株全体の萎ちょう)

③葉腐細菌病(葉柄基部が黒褐変している)

④灰色かび病(葉柄にかびが密生している)

⑤萎ちょう病(一部の葉身の黄化)

⑥萎ちょう病(塊茎の導管褐変)

⑦炭そ病(葉の病斑)

⑧シクラメンホコリダニに加害された蕾(花梗部に白く見えるのはシクラメンホコリダニ)

⑨ミカンキイロアザミウマ

⑩ハスモンヨトウ若齢幼虫の被害(表皮を残して食害する)

⑪ハスモンヨトウ老齢幼虫の被害(若い葉や花芽を食害する)